

# 三愛学舎

## 研究テーマ

・様々な障がい特性や多様な教育的ニーズに応えるために、生徒1人1人を共通に理解し、現在および卒業後の生活につながる適切な教育・支援ができるよう、職員の専門性の向上をめざす。

・本科、専攻科の学科の重点を意識し、教育課程の編成、本科、専攻科の整合性を意識しながら日々の実践を行う。

・「主体的・対話的」「協働的」を意識した授業づくりをめざす。

## 1 全体研究

### (1) 研究目的

①本科、専攻科の新たな学科の重点を全体で共有し、重点を意識して日々の実践につなげる。

②「主体的・対話的」「協働的」を意識した集団での学習について研鑽し、授業改善・授業力向上をめざす。

### (2) 研究内容および方法

①については、昨年度、本科、専攻科ごとに検討を重ね、現在の生徒の特性や教育内容に即し、文言を改めた。新たな学科の重点について各科から発表し、共有化を図った。また、本科、専攻科の学科の重点のつながりや整合性、本科3年間、専攻科2年間、計5年間の学校教育で大切にしていることについても確認した。

②については、本科は「生活」のうち、「献立」または「調理の振り返り」、専攻科は「総合探求」のうち、「合同グループ学習」について、各職員が1ケースを担当し、学習内容、目標、手立て、評価などについて、前期・後期各1回、学年（専攻科は2学年合同）ごとに検討を行った。

上記のケースの中から各学年1ケース（全5ケース）選定し、全職員を5グループに分けて、前期・後期各1回グループ検討を行った。

上記5ケースのうち、本科1ケース、専攻科1ケースについて、グループ検討メンバーによる研究授業を前期・後期各1回実施し、その後

に全体で検討を行った。

## 2 講演会

演題：「思春期・青年期における発達障がい児・者の理解と支援」

講師：常盤大学人間科学心理学科

教授 秋山 邦久氏

期日：2020年10月16日（金）

参加者：24名

## 3 研修会

### (1) 奥中山学園との合同研修（7月29日）

障害児入所施設奥中山学園の職員と合同で実施した。

テーマ：生徒の見立て・目標を共有し、今後の支援に活かす

内容：5グループに分かれ、各グループで1名の生徒についてアセスメントを行い、今後の具体的な取り組みについて協議した協議内容を全体の場で発表し、質疑応答を行った。

### (2) 2年目職員研修（7月）

対象の2名の職員が研究授業（他職員の授業見学、他職員による授業見学と評価）を実施した。

## 4 個人研究

1人1回外部研修に参加することとしていた。新型コロナウイルスの影響により、研修の機会が限られたが、参加職員は研修報告書を作成し、職員間で回覧した。

## 5 刊行物

研究集録を刊行しておりません。